

第31回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

○開催日時 令和4年6月6日（月）1400～1500

○場 所 峰山総合福祉センター 2階コミュニティホール

○出席者 【京丹後市】副市長

【京都府】総務部副部長

丹後広域振興局地域連携・振興部長（丹後広域振興局長代理）

【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）

【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）

【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会委員（会長代理）

京丹後市宇川連合区長会会長

京丹後市防犯委員会会長

京丹後市交通安全指導員会会長

京丹後市女性連絡協議会副会長、理事

京丹後市袖志区、尾和区、中浜区、島津連合区各区長

【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長

【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長

【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○米軍経ヶ岬通信所司令官の挨拶

- ・ 第14ミサイル防衛中隊が地域の皆様と交流するため、イースターエッグハント等これまでのイベントの開催や支援に御尽力いただいた関係者の皆様に対して、感謝する。
- ・ 私たちは、最近発電機をより静音性の高い新しいモデルに更新した。引き続き、可能な限り発電機の使用をメンテナンスや必要不可欠な場合に限定した稼働に努める。なお、緊急時の稼働は避けられないことを御理解願います。
- ・ 近々、私（司令官）は経ヶ岬から離れるが、私の後任には良き隣人である必要性を引き継ぐ。私を皆さんの地域の一員として受け入れていただき感謝する。

○防衛局の説明・構成員の意見等の概要

（1）交通事故の状況等

【説明要旨】

- ・ 米軍関係者による交通事故について、3月から5月末までの間で、物損事故2件。
- ・ 地元と米軍との交通安全に資する情報共有については、3月から5月末までの間に、クマの目撃情報が1件あり、速やかに地元と米軍において情報共有がなされている。
- ・ 昨年3月から本年5月末までの間における野生動物に関する目撃情報を取りまとめた資料を作成し、交通安全に資する情報として、米軍に提供した。交通安全に資する情報を地元と米軍が相互に交換することは非常に有意義であり、引き続き、地元と米軍との交通

事故の未然防止対策に努める。

- ・ 米軍においては、引き続き、交通安全講習会への参加や通信所関係者に対する安全運転の注意喚起などに取り組み、交通事故の未然防止の徹底を図るようお願いする。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 軍人の基地内での居住が始まったが、軍人の方が週末等に買物やレジャー等のために基地から市街地へ自家用車で移動する機会が増えると考えられる。引き続き、米軍関係者の交通ルールの遵守、安全運転の徹底などにより、交通事故の未然防止をお願いする。

(京丹後市)

- ・ 今後も交通事故に対する効果的な未然防止策を講じ、米軍関係者への交通安全教育を徹底されたい。

(京都府)

- ・ 道路事情に慣れてきたせいか、スピードが出ている車両が増えてきているという声を聞いたことがあるため、基地関係者へ注意喚起を行ってほしい。また、府にお願いだが、道路沿いの草木等見通しが悪い箇所があるので、草刈等の対応をお願いしたい。

(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 交通事故の未然防止対策として、これまでに交通安全マップやポスターの作成・配布、交通安全講習会の実施等、各種施策に取り組み、近年では、地域の交通安全の確保に必要な情報の提供として、野生動物の目撃情報等の情報に接した場合には、速やかに地元と米軍において情報共有が行われている。引き続き、各種施策に取り組み、交通事故の未然防止対策に努める。

- ・ スピードの出ている車両が増えてきているという声があったことについては、米軍等に共有する。

(近畿中部防衛局)

(2) 新型コロナ感染症対策

【説明要旨】

- ・ 5月に経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者1名が、出国の際の検査において新型コロナウイルスの陽性であることが判明し、地元の保健所と米側との間で調整が行われるとともに、当局からも、速やかに地元にお知らせした。

- ・ この米軍関係者は、空港所在地の宿泊施設に隔離され、管轄の保健所により健康観察が実施され、濃厚接触者もいなかった。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 今回新たに判明した陽性者については、適切に対応されたと認識している。引き続き、経ヶ岬通信所において基本的な感染防止対策を徹底されたい。

(京丹後市)

- ・ 今回新たに判明した陽性者については、感染拡大に繋がらず、早期に濃厚接触者がいな

いことが確認された。引き続き、正しいマスクの着用等、通信所内や居住地等における感染症対策について徹底し、今後も米軍関係者の新たな陽性が判明した場合には、保健所の調査等に対し、積極的に協力されたい。(京都府)

【回答要旨】

- ・ 米側においては、施設内でもマスクの着用の継続等感染対策が図られており、今後新たに陽性が判明した場合には、保健所の調査等に積極的に協力し、連携して対策を講じるよう、米側と調整したい。(近畿中部防衛局)

(3) 発電機の更新

【説明要旨】

- ・ 今回の発電機の更新については、発電機の老朽化に伴い更新するものであり、事前に地元にお知らせし、4月20日頃から5月16日頃にかけて実施された。発電機の試運転については、土日・夜間の稼働はなかった。(近畿中部防衛局)

【質問・意見要旨】

- ・ 発電機の稼働時に発生する騒音レベルは更新前と比べてどうなのか説明願いたい。また、メンテナンス等で発電機を稼働する必要がある場合でも、平日の日中に限定するようお願いする。(京丹後市)
- ・ 更新された発電機の騒音について、更新前の発電機との比較などにより、調査・確認をお願いする。また、発電機の稼働に当たっては、稼働時間を平日日中に限る等、地域住民に与える影響を最小限とする騒音対策の徹底をお願いする。(京都府)

【回答要旨】

- ・ 米側からは、より静音性の高い発電機を導入したと聞いている。当局としても、現地連絡所職員により発電機稼働時の状況を確認しており、体感としては聞こえなかったり、僅かに聞こえる程度であると認識しており、静音性は高くなったのではないかと考えている。
- ・ 今回の試運転については、土日・夜間の稼働はなかったところであり、今後とも緊急時を除き土日・夜間の稼働は控えるよう米側と調整する。(近畿中部防衛局)

(4) 水質調査及び藻場分布状況の確認

【説明要旨】

- ・ 米軍の浄化槽は、隣接する空自基地と同様の仕様で日本製と承知しており、また、米側は、日本の浄化槽法が定めるところと同様、毎年1回の排出水の水質検査を含め、日本で行われている管理と同様の保守・点検を行い、周辺環境に影響を及ぼさないように努めている。
- ・ さらに、当局においては、地元の御要望を踏まえ、処理水の排出による海の環境への影響を確認するため、周辺海域の海水の水質調査と藻場分布状況の確認を排出開始の前後で

比較できるよう、継続的に調査を行っている。

- ・ 今年3月の排出開始後2回目の水質調査及び藻場分布状況の確認結果は、水質については環境基準値内であり、藻場の分布状況については、これまで令和2年6月と令和3年7月に実施し、今回は令和4年3月に実施したことから、今後、同時期に藻場の分布状況についての確認を行った上で比較したい。
- ・ 次回の調査の実施時期については、浄化槽の稼働状況及び地元の意見を踏まえつつ検討する。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 水質調査と藻場分布状況確認について、今後も継続的に実施されたい。また、浄化槽の維持管理について、日本の環境基準と同様に行われるようお願いする。
(京丹後市)
- ・ 隊舎への入居を踏まえ、周囲に影響がないよう引き続き浄化槽の適切な管理に努めてもらいたい。水質調査と藻場分布状況確認について、継続的に調査を実施し、分析結果について、周辺環境への影響等について分かりやすい形での報告をお願いする。
(京都府)
- ・ 隊舎への入居により浄化槽による処理水の量が増えると考え。浄化槽の検査結果を共有されたい。
(地元住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍による浄化槽の水質検査の結果については、米軍と調整していきたい。また、水質調査及び藻場分布状況の確認については定期的に実施したい。
(近畿中部防衛局)

(5) 日米交流等

【説明要旨】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年、3年は極力イベントの実施を控えていたが、4月16日に京丹後市国際交流協会と米軍経ヶ岬通信所共催のイースターイベントが、京都府丹後文化会館の芝生広場で開催され、約130名の親子連れが参加し、子供たちは塗絵、工作等を楽しんでいた。
- ・ 5月28日、神奈川県キャンプ座間に拠点を置く在日米陸軍軍楽隊が京丹後市を訪れ、道の駅丹後王国「食のみやこ」で京丹後市国際交流協会と米軍経ヶ岬通信所共催の演奏会を実施し、翌29日には、京丹後市網野町八丁浜で開催された航空自衛隊経ヶ岬分屯基地開庁65周年イベント「エアフェスタ経ヶ岬2022」に参加し、楽曲を演奏した。
- ・ 米軍は、様々な機会をとらえ、創意工夫しながら積極的に地域の方々との交流を図ってきており、良き隣人となれるよう努力している。当局としても、地元の方々との相互理解の促進が重要と考えており、新型コロナウイルス感染症対策のため、まだ対面でのイベントには制約があるものの、より多くの地元の方々に参加していただけるよう引き続き各種交流事業の企画や支援に努めていきたい。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 新型コロナウイルスが終息したとは言えない中で、日米交流事業を実施する際には、主催者において関係者や参加者に対する対策の徹底に留意されたい。（地元住民代表）

【回答要旨】

- ・ 日米交流事業について、少しずつ再開できる環境が整いつつあり、まだ対面でのイベントには制限があるものの、新型コロナウイルス対策を徹底しながら実施していきたい。（近畿中部防衛局）

（６）その他

【意見要旨】

- ・ 重要土地等調査法について、６月１日に一部施行となり、９月１日には全面施行になると聞いているが、情報共有のため説明をお願いする。当市としては、注視区域等の選定作業中の段階において、仮に注視区域等に指定された場合には、対象となる市民及び地元にはどのような影響があるのか等に関する事前の説明会の実施やこれを踏まえた地方公共団体の意見を述べる機会を必ず確保されるよう強くお願いする。（京丹後市）

【回答要旨】

- ・ 重要土地等調査法については内閣府及び内閣官房の所管となっているが、６月１日に一部施行がなされ、土地等利用状況審議会が設置されたと承知している。地方自治体への意見聴取について、現時点でその内容やスケジュールについて何ら決まったものはないと承知しており、当局としても引き続き情報収集する。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

- ・ 連絡会は地元にとって重要であり、議事概要は速やかに公表されたい。（地域住民代表）

【回答要旨】

- ・ 議事概要については、関係者への確認等完了次第できる限り速やかに公表する。（近畿中部防衛局）

以上